

ヌーヴェルエスティック日本版 Japon les nouvelles esthétiques spa

Winter

2021
Vol.106
¥1,600

2022年
「売り上げアップ! サロン」になるための
10力条



インディバ®のユーザーが2年ぶりに集結 「第20回インディバ®・コンベンション」大盛況

世界中のさまざまな市場で活用されている高周波温熱機器『インディバ®』。スペインで誕生した『インディバ®』を、日本で販売する株式会社インディバ・ジャパンでは2021年11月2日、『第20回インディバ®・コンベンション』と銘打ったイベントを開催しました。ランチタイムにもセミナーがある盛りだくさんの内容に、全国から参加したユーザーは大満足の様子。大きな収穫を得たようです。



株式会社インディバ・ジャパンの山口祐司会長の挨拶で「第20回インディバ®・コンベンション」がスタート。
万全の感染対策の中で行われた。

小春日和の2021年11月2日、東京・新宿の京王プラザホテルで「第20回インディバ®・コンベンション」が開催されました。同イベントは毎年秋の恒例でしたが、2020年は新型コロナウイルスの影響で中止となり2年ぶりとなります。

今回もコロナウイルス感染対策のため会場の定員数を約半数に制限しての開催となりました。株式会社インディバ・ジャパンでは、インディバ®ユーザーを『インディバ®ファミリー』と呼ぶ慣習があります。家族のように親しく情報交換などをすることもあり、場内は例年通りに活気にあふれています。

そんな『インディバ®ファミリー』にフランクに接する山口祐司会長は、冒頭で以下のように挨拶しました。

「現在の状況だからこそ便宜性、そして免疫力向上や自律神経バランスの改善に着目すべきで、『インディバ®』の重要性も高まるのです」

インディバ・スペインのレムコ・シュミツCEOはビデオでの挨拶で、「この4年間で収益は2倍になった」と、世界レベルで『インディバ®』が浸透してきていることを明らかにしました。インディバ・ジャパンも、コロナ禍にもかかわらず売り上げは増加しているとのことです。

インディバ®ユーザーによる発表は、エステティックはもちろん、メディカル分野からも行われました。月経随伴症状や顔面外科手術後のケア、予防美容としての活用などメディカル分野で大事な役割を果たしているとの発表には、参加者も改めて『インディバ®』の奥

深さに触れたようで、驚きと納得の表情を浮かべていました。

スポーツ・治療分野へ展開している「インディバ®・アクティブ」からの発表もありました。世界で活躍するトップアスリートや自転車競技選手、競馬の騎手への活用法について貴重な報告が披露され、ここでも参加者は『インディバ®』ならではの多様性に触れることになった様子です。

数々のユーザー発表と特別講演があり、参加者からは「さまざまな分野で活用されていることを知り、改めて勉強になった」「オンラインが増えているが、対面開催は意義あることだと実感した」などの声が聞かれました。マスク着用での発表、握手の代わりにグータッチなど、感染対策を徹底しての開催でしたが、『インディバ®』ユーザーにとっては、実り多き一日になったようです。



インディバ®での施術についての報告に、参加者は熱心に聞き入っていた。